

# 鹿児島県の苗鉢物生産振興の支援

所属名：鹿児島地域振興局農政普及課  
発表者名：渡辺 剛史

## <活動事例の要旨>

都市近郊型である鹿児島市の苗鉢物は、近年、夏場の高温による品質低下の多発や需要の低迷による生産量の減少により産地維持が課題となっていた。そこで、効率的な生産振興の指導・支援体制の整備、高温対策技術の実証・普及に取り組んだ。また、県域での生産向上に対する期待が高まる中、当農政普及課が主体となり県域での支援体制づくり及び効果的な活動等に取り組んだ。その結果、鹿児島地域と地域外の産地振興体制が整備され、高温対策技術確立・普及、県域での生産技術・販売情報の共有を図ることができた。

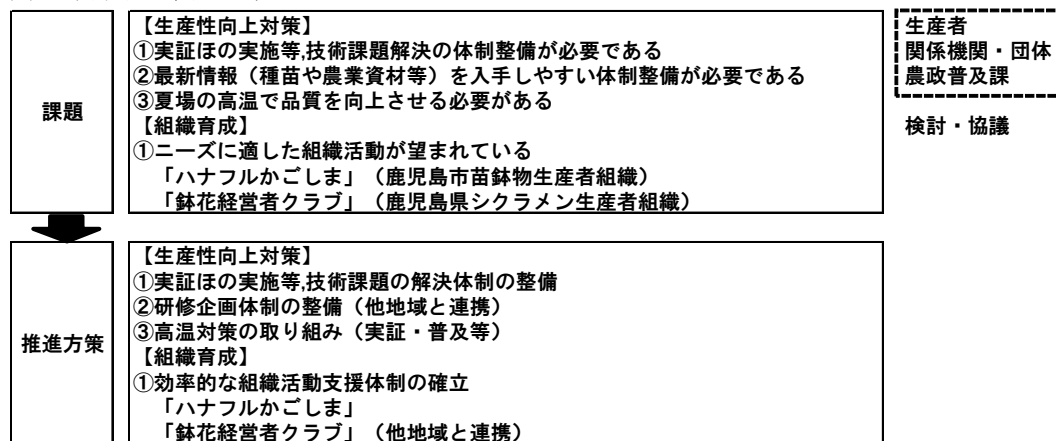
## 1 計画された活動の課題・目標と策定過程

### (1) 課題・目標と設定理由、及び活動の内容と方法

鹿児島市の苗鉢物は、都市近郊地域の立地条件を活かした収益性が高く、付加価値の高い少量多品目の生産を行っている。しかし、近年、温暖化が原因と考えられる夏場の高温により、品質低下が多発し、生産が不安定となっている。また、苗鉢物生産者は生産意欲が高く、県全体で生産性を向上しようとする機運が高まり、そのため、意欲のある苗鉢物生産者に対して、効率的かつ効果的な指導・支援体制整備が急務となっていた。

そこで、それらの課題を解決するために、効率的な生産振興の指導・支援体制の整備や生産性向上対策活動を関係機関一体となって展開した。

### (2) 計画の策定過程



## 2 普及活動の内容

### (1) 活動の経過

#### ア 生産性向上対策

- 平成26年度～ (ア)実証ほの実施等、技術課題の解決体制の整備  
(イ)花市場、企業等との連携による県域の苗鉢物の研修会の開催支援  
(ウ)高温対策の取り組み（実証・普及等）
- 平成29年度～ a パンジーの高温期における施肥改善実証  
平成30年度～ b 高温対策技術マニュアル等を作成、配布  
令和元年度～ c 苗物の発芽向上対策実証
- 苗物のスポットクーラー
    - パンジー、ピオラ、ハボタン、キンギョソウ
    - キンセンカ、ポピー、クリサンセマム
  - パンジーの加工種子

#### イ 組織育成

- (ア)効率的な組織活動支援体制の確立
- 平成2年度～ a 県内のシクラメン農家が構成する研究会組織「鹿児島県鉢花経営者クラブ」の地域振興局、農業高校と連携した技術の課題解決を支援
- 平成23年度～ b 鹿児島市の苗鉢物組織「ハナフルかごしま」に対して事務局を担い技術や販売の課題解決を支援

## (2) 指導・支援の体制

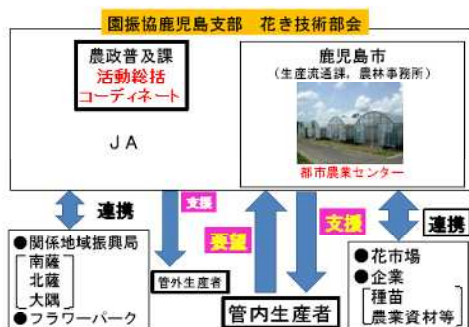


図1 技術課題解決・県域研修会体制

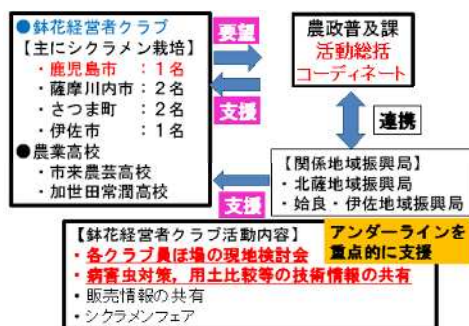


図4 鉢花経営者クラブ活動支援体制

## 3 普及活動の成果

### (1) 課題及び目標の達成状況とその要因

- ア 生産振興の支援・指導体制が整備できた  
 (ア) 実証ほ等の技術課題の解決 (図1)  
 (イ) 県域研修会の流れ (図1)

⇒課題解決情報が速やかに提供できるようになった

- イ 高温対策実証で技術の波及  
 (ア) パンジーの高温障害は液肥で改善  
 (イ) 発芽向上は次の対策で改善

- a スポットクーラー  
 b 加工種子 (図2)

⇒生産者が実践し、生産性が向上した

- ウ 高温対策技術マニュアル等作成・配布  
 高温対策技術の波及 (図3)  
 : 技術員や生産者の理解促進・技術導入  
 ⇒生産者が実践し、生産性が向上した

- エ 鹿児島地域・県域での組織活動の支援  
 (ア) ハナフルかごしま  
 (イ) 鉢花経営者クラブ (図4)  
 ⇒技術等の情報の共有化を図ることができた

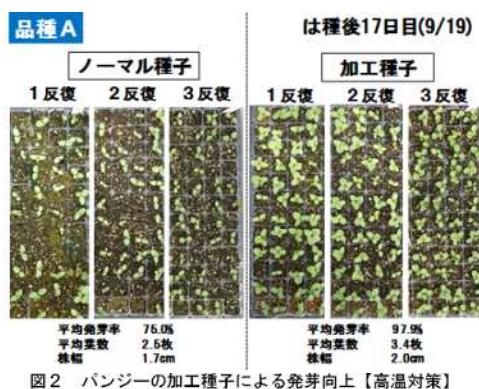


図2 パンジーの加工種子による発芽向上【高温対策】



図3 高温対策等マニュアル

### (2) 活動に対する生産者・農家の評価

- 最新の種苗や技術情報が入手しやすくなった。
- 県内の生産者同士の情報交換ができた。

### (3) 地域農業振興への貢献

- 苗鉢物の高温対策の取り組みは、高温障害が課題となっているその他花き・野菜品目にも大きく貢献する。
- 県域研修会は県内の苗鉢物産地維持に貢献する。

## 4 今後の普及活動に向けて

### (1) 今後の課題

- 高温対策 → パンジーの施肥方法の省力化検討

### (2) 今後の活用に向けて

- 高温対策支援 → パンジーの施肥方法の改善 (I B 肥料代替固形肥料の検討)